

しかしながら、人口が増え続けている当市には、どうしても入院のできる病院が必要であると考え、これまで、県知事をはじめ、県に、つくば保健医療圏のベッド数の基準を緩和して、市内への新たな病院の進出が可能になるように、要望してまいりました。併せて、医療機関に対しても、新たな病院を市内へ設置していただくよう要望を行ってまいりました。

病院の設置については、このような状況ですが、幸いにも市内の各所に、診療所が17か所開業しています。今年6月に皮膚科医院が開業したことにより、市内には、内科、小児科、整形外科など、一通りの診療科目の診療所が整いました。

そのようなことから、入院施設はないにしても、市内には、市民の日常的な診療や健康管理を行い、さらに患者さんの健康状態や病気のことなど、困った時に適切なアドバイスをくれる身近な「お医者さん」を中心とする医療サービスを、市内で受けることができます。

私は、そういった地域の「お医者さん」と市民の皆さんが、常日頃から信頼関係を築くことで、急な病気はもちろん、健康や医療など、些細なことを気軽に相談できることは、日常生活

のうえで、非常に大切なことであると考えます。

また、市では、市内に病院がないことに対する医療対策として、近隣の市などと協力し、JAとりで総合医療センター、総合守谷第一病院など8か所の医療機関で、休日・夜間を含む24時間・365日、診療が受けられる、救急医療の体制強化に取り組んでいます。

加えて、救急車による緊急医療体制としては、市内には3か所の消防署を設置し、近隣の市

生涯学習の充実について



なるみ 成美
おさわ 大澤 議員
(谷和原中 3年)

遠く、気軽に通うことが出来ません。そのため、人口が増加しているみらい平地区に図書館を設置すれば、たくさんの人が図書館を利用できるようなになると私は考えます。

【質問】
みらい平地区は今、住宅地や施設などが作られ、人口も増えています。しかし、みらい平地区には学習に必要な施設がほとんどありません。そこで私は、みらい平地区に図書館の建設を提案したいです。

市には伊奈地区に図書館があります。しかし、みらい平地区からは自転車で行くには少し

の救急病院との連携により、交通事故や救急患者の症状に応じて、迅速・適確に対応できるように、緊急医療体制の強化も図っています。

市としましては、市内への病院設置の必要性を十分に認識していますので、今後も総合病院の誘致と併せて、市内の診療所や近隣市の医療機関との連携を強化し、市民が安心して安全に暮らせるよう、さらなる医療体制の充実を図ってまいりたいと思います。

えば、とても便利になると思います。そうすれば、幅広い年齢の方が図書館を利用するのではないのでしょうか。また、これらのような図書館を作ることで、学力向上につながるかと私は考えます。

【市長答弁】

みらい平地区は着実に発展を続け、それに伴い市内全体の人口も年々増加し、昨年1年間の人口増加率が1・23%で、茨城県で第1位になっています。

現在のところ、みらい平地区には市の公共施設がありませんが、来年秋の開館を予定して、みらい平地区にコミュニティセンターの建設計画を進めています。建設場所は、紫峰ヶ丘4丁目4番、どんぐり公園の向かい側になります。

そのコミュニティセンター内には、子育て環境の充実を図るため、児童館や子育て支援室を整備します。また、コミュニティの拠点として、多目的室や会議室、そして、大澤議員が要望されます図書館も整備する計画です。これにより、市内における図書館は、本館・小絹分館と合わせて3館となります。

大澤議員をはじめ、たくさんの方々が気軽に利用できる図書館整備を目指していますので、完成しましたらぜひ利用していただき、学習に励んでください。

